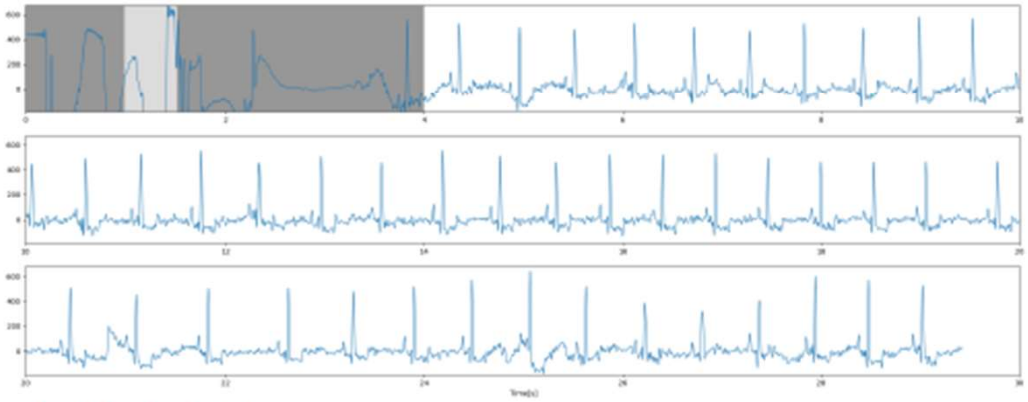
あにさぽ

○○○○動物病院

ハートチェックレポート

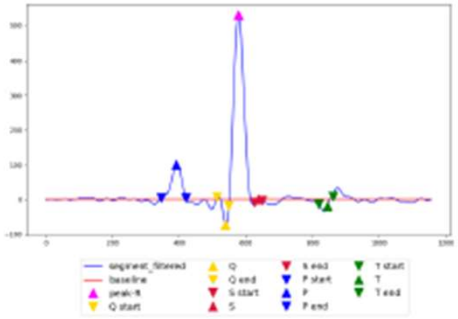
測定日時　：　2024年 6月26日 10:30
動物名　：　△△ちゃん　　動物種：イヌ
飼い主名　：　□□ 様

心電波形情報（ノイズ除去処理前）



※測定した心電波形の全体を示しています。
白　色　部　分：ＡＩ解析に使用した部分です。
薄いグレー部分：適切な心電波形が得られましたが、ＡＩ解析には使用しなかった部分です。
濃いグレー部分：適切な心電波形が得られず、ＡＩ解析には使用しなかった部分です。

解析波形（ノイズ除去処理後）



波形パラメータ（ノイズ除去処理後）

波形パラメータ

心拍数（bpm）：103
R-R変動率（%）：9.97
QTc（s）：0.23

※　波形パラメータの標準値

心拍数（bpm）：70～160
R-R変動率（%）：≧6.0
QTc（s）：0.15～0.25

ＡＩチェック

グループ	1	2		3
		2	2＋	
AIチェック結果			＊	
疾患が見つかった割合	少なめです	やや少なめです	やや多めです	多めです
AIから飼い主様へのアドバイス	定期的に測定して状態の変化に気を付けてください	散歩中に休む・咳など気になることがあれば獣医師に相談ください	獣医師の指示があれば必要な検査を受けてください	精密検査の受診を推奨します

犬AI波形異常検出結果	幅広QRS、ST下降、R幅拡大

※　AIチェック結果は、チェックした心電が「健康なイヌ」と「心疾患のイヌ」の心電に、どれだけ近似しているかを解析し、心疾患が見つかった割合に応じて分類されたグループのいずれに該当するかを示しています。疾患の有無や重篤度、疾患に罹患するリスクを示すものではありません。
※　立位で簡単に測定しているため、ノイズ処理の限度を超える心電ノイズが生じると、疾患が見つかった割合が多めに出る場合があります。その場合は、再度測定を実施してください。
※　AIチェックは、飼い主様に適切な心臓の見守りを提案するもので、診断を補助するものではありません。

あにさぽ

〇〇〇〇動物病院

ハートチェックレポート

測定日時　：2024年 6月26日 10:30
動物名　：△△ちゃん　　動物種：イヌ
飼い主名　：□□ 様

ＡＩチェック

グループ	1	2		3
		2	2＋	
AIチェック結果			＊	
疾患が見つかった割合	少なめです	やや少なめです	やや多めです	多めです
AIから飼い主様へのアドバイス	定期的に測定して状態の変化に気を付けてください	散歩中に休む・咳など気になることがあれば獣医師に相談ください	獣医師の指示があれば必要な検査を受けてください	精密検査の受診を推奨します

犬に多く発生する僧帽弁閉鎖不全症において、発病の初期段階では、弁の調子が悪くなって血液の逆流や心雑音が確認されても、直ぐには心臓の機能に大きな影響を及ぼさず、心臓機能を測定する心電図に異常が認められない場合があります。また、心臓の形態や状況によっては、進行した段階でも心電図に異常を生じない事もあります。この疾患は、まず弁に異常が生じ、続いて心臓機能が低下する進行性ですので、ハートチェックの判定のみで判断せずに、獣医師の診断、指示に必ず従うようにしてください。

【病院コメント欄】

□特に問題ないようですので定期的な検診をお勧めします

□少し気になりますのでしばらく経過観察しましょう

□精密検査をお勧めします

□心雑音が確認されます

心臓病について
もっと知りたい方はこちら

物産アニマルヘルスの提供する疾病解説コンテンツ
ワクワク！ペットフルライフ
- For Wonderful Life with Dog & Cat -

https://dog-heart.info/